

映画の中の市民社会 2016

映画上映と講座のシリーズ「映画の中の市民社会」。昨年のカヌ国際映画祭で最高賞(パルム・ドール)を受賞した、パリ郊外に暮らすスリランカ人の疑似家族の姿を描く『ディーパンの闘い』。今年のアカデミー賞で作品賞に輝いた、カトリック教会内のタブーに挑む新聞記者チームの行動力が印象的な『スポットライト 世紀のスcoop』。そして、ワイドショーなどを賑わせた作曲家・佐村河内守氏に森達也監督が密着する『FAKE』の3作品です。作品のテーマに合わせた多彩な講師をお招きして開催いたします。

作品① ディーパンの闘い

2015年/フランス/フランス語・タミル語/115分/監督 ジャック・オディアール(「君と歩く世界」)

主人公は内戦下のスリランカを逃れ、フランスに入国するため、赤の他人の女と少女とともに“家族”を装う元兵士ディーパン。パリ郊外の集合団地でささやかな幸せを手にかけた矢先、新たな暴力が襲いかかる。人種、宗教、移民問題に揺れる欧州の“今”を鮮やかに取り込んだ、スリリングな人間ドラマの傑作。

上映時間	7/9(土)、7/11(月)~7/15(金) ①12:20~14:25 ②18:45~20:50
	7/10(日) ①12:20~14:25
	7/16(土)~7/22(金) ①16:10~18:15

講座	日時:7/21(木) 19:00 開講 (約1時間30分)
	会場:新潟国際情報大学新潟中央キャンパス(新潟市中央区上大川前通7)
	講師:窪田悠一(新潟県立大学 講師 アジア諸国の内戦における民軍関係を研究)



作品② スポットライト 世紀のスcoop

2015年/アメリカ/英語/128分/監督 トム・マッカーシー(「扉をたたく人」「靴職人と魔法のミシン」)

米国の新聞「ボストン・グローブ」の特集記事「スポットライト」チームが、巨大な権力を相手に正義を貫いた実話を、綿密なリサーチを元に映画化。自社の購読者の半数以上がカトリック信者でありながら、記者たちはいかにして教会というタブーに切り込み、暗闇の中の真実を探り当てたのか。ピューリッツァー賞に輝いた“世紀のスcoop”を成し遂げるまでの闘いをリアルに描く。

上映時間	7/23(土)~7/29(金) ①12:10~14:30 ②19:30~21:50
	7/30(土)~8/5(金) ①16:50~19:10

講座	日時:8/10(水) 19:00 開講 (約1時間30分)
	会場:新潟国際情報大学新潟中央キャンパス(新潟市中央区上大川前通7)
	講師:倉重篤郎(毎日新聞 専門編集委員)

作品③ FAKE

2016年/日本/日本語/109分/監督 森達也(「A」「A2」)/出演 佐村河内守

…映画で大切なことは普遍性。入口はゴーストライター騒動だけど、出口はきっと違います。誰が佐村河内守を造形したのか。誰が嘘をついているのか。真実とは何か。虚偽とは何か。そもそも映画(森達也)は信じられるのか……。視点や解釈は無数です。絶対に一つではない。僕の視点と解釈は存在するけれど、結局は観たあなたのもので。でもひとつだけ思っしてほしい。様々な解釈と視点があるからこそ、この世界は自由で豊かで素晴らしいのだと。(「FAKE」森達也監督のコメントより抜粋)

上映時間	7/30(土)~8/5(金) ①10:00~12:00 ②19:30~21:30
	8/6(土)~8/12(金) ①13:55~15:55 ②20:30~22:30

講座	日時:8/6(土) 17:00 開講 (約1時間30分)
	会場:新潟市総合福祉会館(新潟市中央区八千代1) 404 会議室
	講師:森達也(「FAKE」監督)



- 映画鑑賞料金 大人 1800円 学生 1500円 シニア(60歳以上) 1100円 ウインド会員 1000円 ウインド学生・シニア会員 800円
- 講座は映画鑑賞後の参加をおすすめします。講座参加費は無料、申込不要です。直接会場へお越しください。
- シネ・ウインドで映画鑑賞の方に万代シテイ第2駐車場の3時間無料券を発行します。入場受付時に駐車券をご提示ください。講座会場の駐車場サービスはございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

上映会場 /
問い合わせ先



新潟・市民映画館 シネ・ウインド ☎025-243-5530 <http://cinewind.com/>
新潟市中央区八千代2丁目1-1 万代シテイ第二駐車場 1階(新潟伊勢丹向い)